

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL <http://www.jaichi.jp>
Eメール info@jaichi.jp
TEL(052)916-2251
FAX(052)916-2308

2015. 3. 10
No.1110

発行責任者 林 達也 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

3～6月は
春の組織拡大月間

新規採用者、未加入者
非正規労働者へ

あなたから組合加入の一声を



青年自治研集会 仕事のこと語り合った「キラ☆スパ」につなげよう

in 愛知
6.13
～14

県本部
青年集会

県本部主催の青年集会「キラ☆スパ」が2月28日から3月1日にかけて、西尾市内で開催され、13単組から78人が参加しました。この集会は、今年6月に愛知で「若いみんなの仕事について考えよう」をテーマに開催される「青年自治研集会in愛知」のプレ企画の位置づけです。初日、「働いてるとこんなことあるある！ ～あなたならどうする？～」と題したグループワークでは、「水道料金を払えない、一日待ってほしい」といった具体的なテーマをもとに、「滞納が続くなら止め

ることも検討せざるを得ないのかな…」憲法25条の生存権の保障も必要でないか」など、互いの意見を出し合う参加者。講師の自治労連本部の中川書記長は「支払えない原因は何か。現場に足を運び、住民と顔を合わせて話すことを大切にしたい。公務の対応としてどうあるべきか、考え続けてほしい」と議論を呼びかけました。学習後はレクや夕食会で盛り上がった仲間たち。2日目もグループワークで、「仕事の悩み」「良い仕事とは」について話し合いました。

自分の不満 に気づけた



鈴木孝之さん(春日井市職労)

グループワークでまるで知らなかった他職場のこと、他市町村の状況を学びました。2日目の学習では、参加した仲間の「グチ」を聞く中で、自分にも仕事に対する不満があることに気づきました。公務について自分と違う見方の人もいて、自分の仕事について、あらためて考えてみる良いきっかけとなりました。

交流が楽しい また来たい!



石川恵里さん(豊橋市職労)

他市町村の同年代と交流したいと思い参加。1日目の講義の中の「被災時に私たち公務員が何をすべきか」、とても考えさせられました。グループワークでは思ったことをしっかり伝えることができました。交流会のジェスチャーゲームで「カニ」をしたのが印象に残っています。またこんな機会があれば、参加したいです。

被爆 70 年を核兵器のない 世界への転換点に

3・1ピキニデー



2015年3・1ピキニデー日本原水協全国集会

う」と呼びかけました。

「ピキニ被災事件と焼津市民のたたかい」の座談会では、第五福竜丸元乗組員の白石さんが「仲間の無念を思い最後まで私は訴え続けていきたい」。当時、中学生で署名の呼びかけを始めた杉村さんから「自分たちでできることを考え行動してきた」と思い出が語られました。

マージナル諸島共和国島民代表はじめ国内各地の代表者からの「核廃絶」に向けた決意を共有し、核兵器全面禁止・廃絶への意思を固めあいました。

久保山さん墓前
献花に1600人

翌日のピキニデー集会では、主催者が「今年はピキニ被災から61年、被爆から70年。核兵器のない、真に平和な世界のために本集会を起点に国際署名や原爆展の開催など旺盛にとりくみ、成果をニューヨークに総結集させましょ

3月1日の墓参行進では小雨の降る中、JR焼津駅から、ピキニ環礁の水爆実験で死の灰を浴びて亡くなった故久保山愛吉さん(元第五福竜丸無線長)の墓がある弘徳院まで墓参行進し、墓前で献花しました。

15春の組織拡大

「ぜひ、今日加入して欲しい」 新規採用者へ組合の大切さ訴え

先輩の訴えで 20人以上加入

半田市職

2月23日、半田市職は組合説明会を研修の昼休みに開催。医療職などを除く37人の新入職員が参加しました。

を説明しました。続いて昨年4月に採用された組合員が、自身の実感として「先輩組合員とつながりができるのも組合の良いところ」と訴えました。

その後、組合加入書の書き方や共済プレゼントを説明しました。新規採用者から、「今日書かなくてはダメですか？」の質問

に、「ぜひ、今日加入届を書いてほしい」と声をかけると、「わかりました、組合に入ります」。

先輩からの働きかけに、他の新規採用者も次々と加入書に記入がすみ、その場で21人が仲間に加わりました。

続いて、昨年4月に加入した先輩組合員2人から、「働きやすい職場はひとりの力ではできない。みんなで良くしていこう」、「私たちが安心して働くことができるのは、組合があるおかげ」と呼びかけると拍手が起こり、加入がすすみました。

知立市職労は2月26日に組合説明会を新採23人の参加で開催。西三河の仲間である、西尾市職が応援に駆けつけました。

杉浦委員長より「安心して働くことができる環境をつくるのが組合。ぜひ加入を」と訴えました。



昨年4月加入の先輩組合員が訴えました(半田)

みんなで働き やすい職場に

碧南市職

新人研修3日目の25日、1日目の説明会で加入した新人とともに、2人の新人が組合事務所を訪問し加入。職場の先輩からだけでなく、新人同士の声かけもすすんでいます。



「組合があるから安心して働ける」と訴え(碧南)



安くて安心

セッ共済

自治労連

掛金

1820円/月

病気入院

5000円/1日



新實敏治さん(豊橋)

仕事は「言われたことだけやれば良い」ではダメ。日々、業務の研鑽が大切、

豊橋市職労・新實敏治さん33年間、学校用務員として勤務し定年。市の用務員をまとめる総括業務長、組合でも本部役員など歴任。

仕事の研鑽で 職場まもる

今年度で退職される組合員さんに思いを聞きました

ありがとう、お疲れ様でした

その思いで33年間働き、充実した仕事・組合活動で成長させてもらいました。

自分の仕事姿にあこがれて豊橋市の用務員になつてくれた後輩がいます。彼ら若手のためにも、現業の職場を残してあげたい。

豊橋市では、高所作業車による木の選定作業を、業者に頼らず用務員が行えるようにしたことも転機となり、委託化の流れを食い止めて、市の正規採用を長年にわたって守って来ることができました。



吉田有希さん(犬山)

私にとって組合は 活力もらえる場

犬山市職労・吉田有希さん5年間、保育士として勤務し、県本部保育所部会役員などで活躍。結婚により他県へ転居されます。

「保育園のお母さん」になれるようにと、子どもたちが園で気持ちを素直に

る制度を学んだ。組合があるから、子どもたちのために保育を改善していける」と自身の経験をもとに語りました。

15春闘へ 学習すすむ

「賃金制度」を 基礎から学ぶ

長久手

長久手市職労は3月4日、「春の全体学習会」を県本部の伊藤書記次

を講師に開催。28人が賃金制度を基礎から学びました。

学習会は、昨秋の県本部役員学校に参加した2年目の執行委員が、その時の経験をもとに長久手市の条例や規則などの資料を用意。みんなで昇給・昇格制度の見方など、給料表をマ

クしながら学びました。

出せるような心がけ、保育をしてきました。

私にとって組合は、現場の保育士の声を上に挙げていいんだと気づかせてくれた存在。日々の保育への活力をもらえる場でもありました。子どものために少しでも保育制度を良くできるなら、と活動してきました。退職後も子どもに関わりたいです。

単組定期大会 役員紹介

●学事労(2月27日)

執行委員長 鈴木かおる
副執行委員長 佐藤 建一
書記長 小川あき子
書記次長 橋本 容子



西尾から応援に駆けつけました(知立)



保育制度と組合の大切さを学習



昇給・昇格制度のしくみを学びました